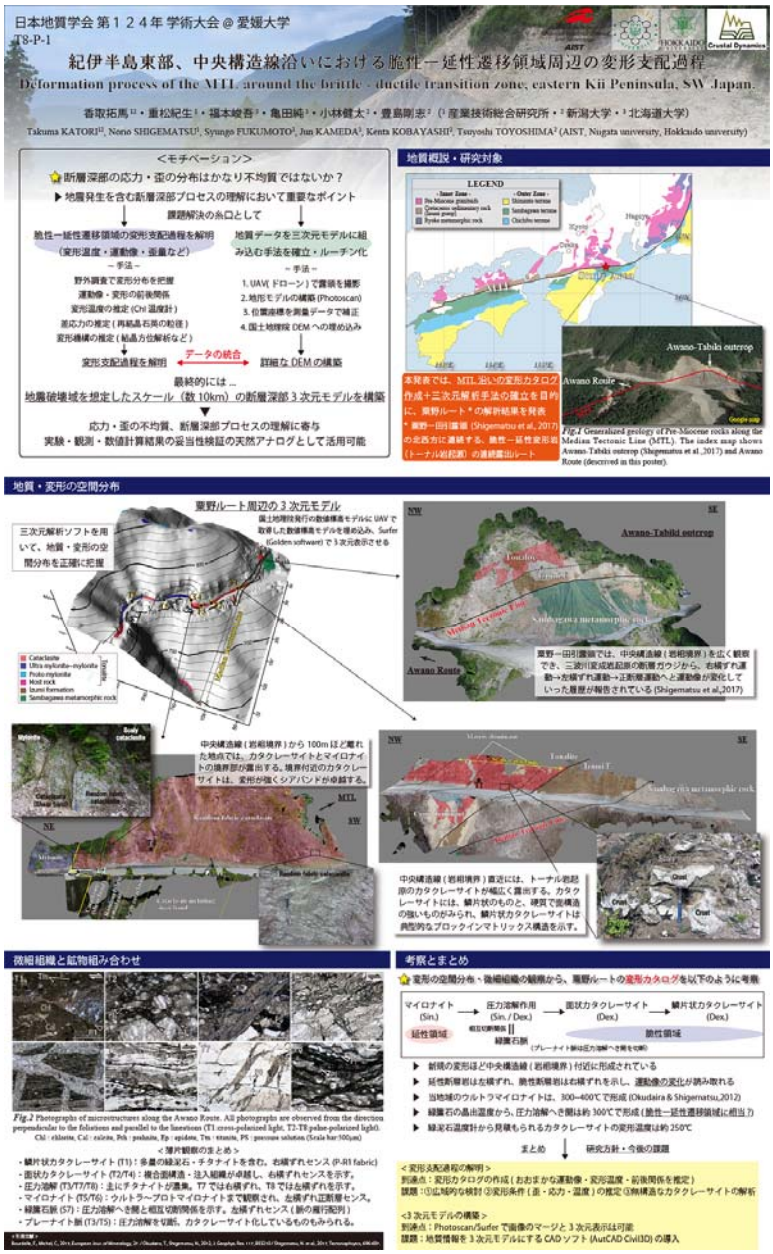
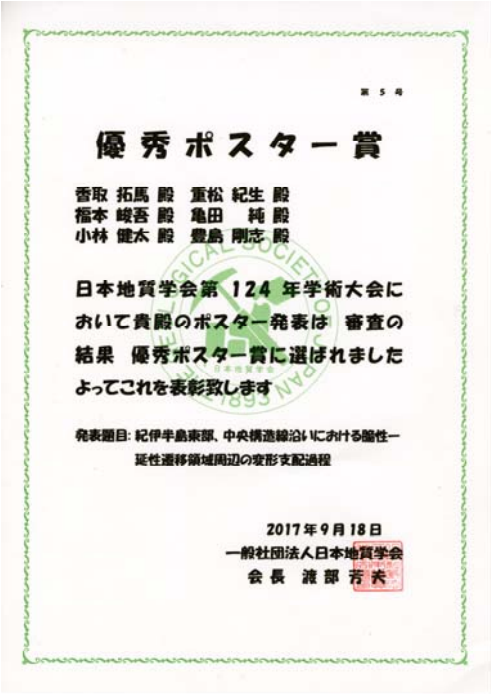
香取　拓馬さん（環境科学専攻・博士後期課程１年）が、日本地質学会第 124 年学術大会において、優秀ポスター賞を受賞しました。

日本地質学会第 124 年学術大会において、香取拓馬さん（理学部地質科学科卒業、大学院自然科学研究科環境科学専攻地球科学コース・博士後期課程１年、小林研究室所属。産業技術総合研究所地震テクトニクス研究グループ・リサーチアシスタント）が、優秀ポスター賞を受賞しました。詳細な地質調査に基づき断層の運動像や変形の前後関係を求め、温度などの変形環境を推定し変形カタログを作成したこと、またドローンで撮影した画像データを三次元的に解析することにより、地質と地形の空間分布を正確に把握したことなどが高く評価されました。

発表タイトル：紀伊半島東部、中央構造線沿いにおける脆性―延性遷移領域周辺の変形支配過程

著者：香取拓馬[1、2]・重松紀生[1]・福本峻吾[3]・亀田　純[3]・小林健太[2]・豊島剛志[2]（産業技術総合研究所[1]・新潟大学[2]・北海道大学[3]）